

建設業



吉田建設(株)

(株式会社エコ・ファーム鳥取)

代表者：代表取締役 吉田 友和

従業員数：39名

事業内容：総合建設業

URL：https://www.yosida-home.jp/

柔軟な会議の仕方のための環境整備

－Web会議システムを導入し、移動時間も効率的に活用－

☑取り組みの背景やきっかけは？

今までは吉田建設の「経営会議」をはじめ「工事の進捗会議」「工程会議」等の集合型会議を月に2、3回実施していました。

吉田建設本社と(株)エコ・ファーム鳥取（鳥取市賀露町）間の移動や県外への出張も多く、安価でかつ簡単に出来る会議方法を探していました。

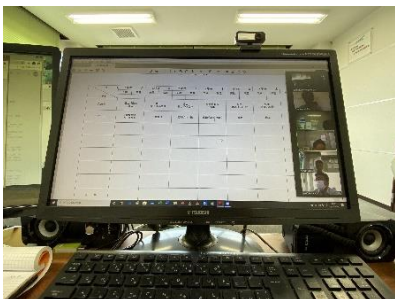
新型コロナ禍で密を避けるということも取り組みを前進させるきっかけとなりました。

取り組みの推進にあたっては、とにかく社長の

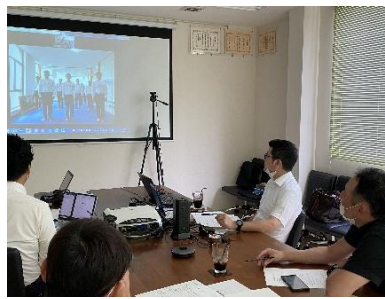
☑どのような取り組みをしましたか？

目まぐるしく変化するビジネス環境に迅速に対応するためには、情報共有や意思決定にもスピードが求められます。

「いつでも・どこからでも」コミュニケーションが取れるWeb会議システム（Zoom）を導入し



Web会議の様子



採用面接の様子



遠隔地と打ち合わせの様子

☑導入後の効果

これまでも情報の共有化には努めてきていましたが、やはり電話とメールだけでは、細かい図面の修正指示等は難しかった。Web会議を取り入れたことで画面による共有が可能となり、リアルな会議と遜色ない質の高い会議ができるようになりました。

さらに、移動の制約や時間設定のストレスがなく



株式会社エコ・ファーム鳥取・吉田建設株式会社
代表取締役 吉田友和氏



体と時間が不足し、「会議時間」の調整が一番苦労していました。

社長は、吉田建設とエコ・ファームを行き来する。そして現場を行き来する移動時間も考慮したりと事前の準備が大変でした。

ました。

社員はスマートフォンを利用して会議を行っています。これまで当たり前だった「対面」「電話」「メール」といった手段を超えるコミュニケーションツールとなっています。

さらに、人材採用の場面でもweb会議を活用。活用の方法は多岐にわたります。

なり、いつでもどこでも話合いが出来るので、コミュニケーションが非常に楽しくなりました。

☑社員さんからの声

- ・リアルな会議より、話しやすい雰囲気もあり意見も出しやすくなった。
- ・会議が効率的に進み、生産性が上がった。
- ・出張の経費がずいぶん減った。（経理）
- ・時間と場所を気にしなくなった。